

校長室
だより

おみっこ通信

思い合いの心で みんなが笑顔！

令和8年10月2日

麻績小学校

No. 7



文責：尾台

響かせ合う秋

「あっ、〇〇くんいる」「私は、(トランペットの構えをして)やってみたい」・・・3日の北部音楽祭を前に、朝のステージ練習をしている金管バンドの演奏を聴いていると、通りかかった1年生が一人、また一人と足を止め、うらやましそうに眺めていました。さまざまな楽器を手に、いきいきとしたハーモニーを奏でる上級生の姿は、下級生にとって、「いつか自分もやってみたい」という憧れの姿でもあるようです。

10月16日には村内の三校園の子どもたちが一同に会す「おみっこミュージックフェスティバル」が控えていることもあり、校内のどこかしらから歌声や楽器の音が聴こえてくる時期となりました。

2学期に入ってから制作した図工作品も廊下に並ぶ校舎内。お互いの歌声、奏でる音を響かせ合いながら、芸術の秋としての深まりも楽しみたいところです。

9月の麻績小ダイジェスト



＜一輪車 Day＞ 今まで一輪車コーナーだった中庭の地面（石ブロック）がデコボコしてきたので、9月から体育館で一輪車を使えるようにしました。毎週月・水・金の昼休みは、学年を超えて、たくさんの子どもたちが一輪車にチャレンジしています。



＜ようこそ！＞ ALT のジェニー先生とジア先生のご家族が、麻績小を訪問してくださいました。全ての学年の子どもたちと「I like～」と、好きなものを紹介したり、ギターを手に歌を披露したりと交流タイムを設けてくださったので、子どもたちは、温かな雰囲気のご家族と楽しいひとときを過ごすことができました。



＜おみっこオンステージ＞ 児童会主催のおみっこオンステージが開催されました。マッサージ、縄跳び、けん玉、キャッチボール、一輪車・・・と、出場者それぞれが技を披露する姿に、会場は「おお！」「すごい！」と大盛り上がり！終わると同時に「次が楽しみだね」「次は出ようかなあ」という声が聞こえてきました。



<秋の大冒険！> ちょうど雨の合間の晴れとなった17日は、1年生が筑北村のやすらぎスポーツ広場に、18日は、2年生は電車やバスを乗り継いで長野市に、それぞれ遠足に行ってきました。長い距離を歩く、または、公共交通機関を使って移動すると、どちらも子どもたちにとっては「初めて」の多い大冒険でしたが、道中の秋を感じながら無事行てくることができました。



<わくわくの村さんと> 麻績村を拠点に活動している「わくわくの村」の皆さんの協力を得ながら、地域の自然素材について学んでいる4年生。先日は、麻績村特産のもち麦粉を使ったピザづくりに挑戦。わくわくの村の皆さんにアドバイスいただきながら、自分たちで生地を作り、具をのせて、自分たちで窯に入れて焼くピザに「おいしい!!」「うまい!」と、大満足の様子でした。



<実りの秋> 米づくりに挑戦している5年生は、14日にOMIMOの久保田さんや、JAの方々の協力を得ながら、黄金色に実った稲穂を刈りました。自分たちの育てたお米の味が、今から楽しみです。

番外編 麻績の教職員ニュース



9日は筑北中学校で小中合同授業研究会（1年生理科）がありました。中信教育事務所の清水指導主事からご指導いただきながら、小中の職員が語り合う文化を大切に、自分で学び、考え、行動する子どもをともに育てていくことについて再確認する機会となりました。

9月末は、個別懇談会に足をお運びいただきありがとうございました。限られた時間ではありましたが、各担任もお家の方とお子さんの様子についてお話しでき、有意義なひとときとなったようです。

いよいよ年度も後半を迎えます。この機会に限らず、お子さんのことをご心配なことがございましたら、いつでも担任等にお声がけください。